

# 武蔵野市立第五中学校改築基本計画素案（案） 概要版

## ○ 計画の背景と目的

市では、令和 2 (2020) 年 3 月に策定した『武蔵野市学校施設整備基本計画』に基づき、今年度より武蔵野在住者、地域団体代表者で構成する「武蔵野市立第五中学校改築懇談会」でご意見をうかがいながら、『武蔵野市立第五中学校改築基本計画』（以下「本計画」という。）の策定を進めてきました。

本計画では、第五中の改築事業を進めていく上での基本的な考え方を示すとともに、今後第五中の設計を行うための、新たな学校施設の規模、配置及び事業スケジュール等与条件の整理を行います。

### ○ 第五中改築基本計画素案 意見募集

対象：第五中学区内在住者（西久保全域、関前 1～4 丁目）  
 締切：11 月 27 日（金）必着  
 提出方法：郵送、Eメール、FAX、持参のいずれか（提出先は巻末参照）  
 冊子の配布：市役所教育企画課、市政資料コーナー、西久保・関前コミセン。  
 市ホームページに全文掲載。

※ご意見の内容は、個人情報や計画に関わらないものを除き、原則公開します。

### ○ 説明会

11 月 15 日(日)午前 10 時 30 分  
 第五小学校体育館  
 11 月 17 日(火)午後 6 時 30 分  
 第五中学校体育館  
 11 月 21 日(土)午後 2 時  
 関前南小学校体育館

## ○ 第五中の現況



住所：関前 2-10-20

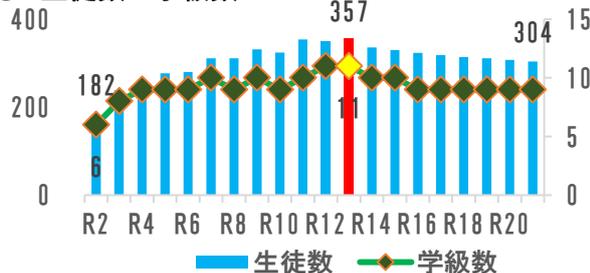
番号	施設	建築年度	構造	階数	面積㎡
①	校舎棟	S36	RC	3	4,419
②	北校舎増築棟	S49	RC	2	427
③	プール更衣室棟	S59	RC	1	107
④	音楽室棟	S60	RC	2	264
⑤	体育館棟	S39	RC+S	2	1,288
門	敷地出入口	—	—	—	—
倉	他 倉庫等	—	—	—	—

構造凡例：RC=鉄筋コンクリート造、  
 SRC=鉄骨鉄筋コンクリート造

#### 敷地内の主な植栽

- 榎 ケヤキ（市指定シンボルツリー）
- 植 1 植込（オオムラサキツツジ）
- 植 2 緑地（ムクノキ、エノキ、カキノキ、オニグルミなど）
- 植 3 中庭・岩石（シダレザクラ、ミカン、トチノキ、モクレンなど）
- 植 4 並木（サクラ、イチョウ）
- 植 5 植栽帯（サクラ、アカマツ、ユズリハなど）

## ○ 生徒数・学級数



しばらく増加する傾向にあり、ピークの令和 13(2031)年には、現在の 1.96 倍程度、増加すると予測しています。そのため、ピークに合わせた生徒数・学級数を想定した施設整備を進めます。

現在（令和 2 (2020) 年 5 月 1 日）：182 人、6 学級  
 ピーク（令和 13(2031) 年）：357 人、11 学級

## ○ 改築計画施設の予定規模

延床面積：校舎棟 約 6,800 ㎡、体育館棟 約 1,150 ㎡  
 付属建物 約 320 ㎡  
 階数：校舎棟 地上 3 階建て、体育館棟 地上 1 階建て（一部 2 階建て）  
 構造：校舎棟 鉄筋コンクリート造、体育館棟 鉄骨造

## ○ 構成諸室

### 【校舎棟】

- ・普通教室（普通教室、習熟度別学習室、多目的室）
- ・特別教室（理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室）
- ・ラーニング・コモンズ（学校図書館、多目的室）
- ・管理諸室（事務室、校長室、応接室、主事室、職員室、印刷室、大会議室、職員更衣室、倉庫、保健室、教育相談室）
- ・特別活動・生活諸室（生徒会室、進路指導室、放送室、児童・生徒用更衣室、リフト室）
- ・共用諸室（トイレ、倉庫、教材室等）
- ・特別支援諸室（特別支援プレイルーム、特別支援指導教室、特別支援学級（知的障害）、職員室）
- ・PTA・地域（PTA 室、多目的室（開放用）、開放管理室）

### 【体育館棟】

体育室、器具庫、更衣室、トイレ、防災倉庫、備蓄倉庫等

## ○ 基本方針

第五中学校の特徴や伝統、文化を生かしながら改築事業を行うための方針です。

- ・生徒の自主・自律の心と身体を育み、挑戦する姿勢に応える学校
- ・豊かな緑に守られ、地域とともに生徒を育てる学校
- ・知・徳・体をバランス良く育み、将来にわたり探求的かつ協働的な学びの充実に資することができる施設

## ○ 整備方針（抜粋）

### （教室・教室まわり）

- ・感染症対策に配慮し、教室と廊下の可動式間仕切壁の設置や、適切な換気方法等を検討します。
- ・国や東京都の少人数学級導入の動向を見ながら、対応を検討します。

### （ラーニング・コモンズ）

- ・主体的かつ探究的な学習活動を支援するため、学校図書館の機能に、ICT機器を活用できる環境を兼ね備えたラーニング・コモンズを整備します。

### （体育施設）

- ・プールは安全性に十分配慮しながら、外部からの視線を遮る工夫を行います。
- ・校庭は、学校周辺への砂ぼこり対策として、散水設備、砂ぼこりの発生しにくい材料や緩衝緑地の整備を検討します。

### （バリアフリー・ユニバーサルデザイン）

- ・『高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー新法）』に準じて、エレベーター、階段等への両側手すり、スロープ等を設置し、すべての生徒、教職員等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるようになります。

### （設備・構造）

- ・各居室に冷暖房、換気設備を設置します。
- ・将来の人口減も見据えて、空き教室を他の用途の室に容易に転用することができるよう、スケルトン・インフィルとします。

### （防犯対策・安全対策）

- ・機械警備、正門の電気錠、防犯カメラ、校内内線電話、学校110番を設置します。
- ・付属施設や非構造部材も含めて、十分な耐震性能を確保します。

### （地域連携・開放施設）

- ・開放エリアと学校エリアを適切にゾーニングするとともに、地域のコミュニティルームとして活用できるよう、開放用多目的室を開放エリア内に整備します。

### （避難所）

- ・体育館とマンホールトイレなどは、防災機能を担う諸室、設備と連携しやすい配置とします。
- ・災害時には、開放用の多目的室を「おもいやりルーム」として利用できるようにします。
- ・自立運転機能付きの太陽光発電設備を導入し、災害時にも利用できるようにします。また、蓄電池など非常用電源の導入についても、検討します。

### （環境との共生）

- ・省エネルギー化など環境配慮型施設の具体化を検討します。

### （改築工事中の対応）

- ・学校の教育活動に負担がかからないよう、配置計画等、可能な限り配慮を行います。

### （第五中の特徴を活かした整備方針）

- ・ポスターセッションの会場として利用しやすい設えを工夫します。
- ・既存の樹木をできる限り残し、緑の憩いの場の整備や施設内からの緑の見え方に配慮するなど、豊かな自然環境を生かした設計とします。
- ・周辺の緑に調和する景観に配慮した建築物とします。
- ・井ノ頭通りとの関係性を考慮した設計とします。
- ・今後更新が予定されている武蔵境浄水場の動向を確認しながら、設計を進めます。
- ・特別支援学級（知的障害）について、教育上効果的な配置を検討します。

## ○ 武蔵野市立第五中学校改築懇談会 開催状況と今後の予定

	日程	テーマ・主な議題
第1回	令和2年 6月25日（木）	現状共有、第五中学校の現在と未来
第2回	7月29日（水）	地域性について（防犯、地域連携、学校開放、避難拠点）
第3回	8月24日（月）	地域性を踏まえた整備方針案、配置計画
第4回	9月23日（水）	配置計画案
第5回	10月26日（月）	改築基本計画素案
第6回	12月21日（月）	改築基本計画案
令和3年度（2回程度）		基本設計案

問い合わせ・意見の提出：武蔵野市教育委員会 教育企画課 財務係  
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 / TEL：0422-60-1972  
Eメール：SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp / FAX：0422-51-9260

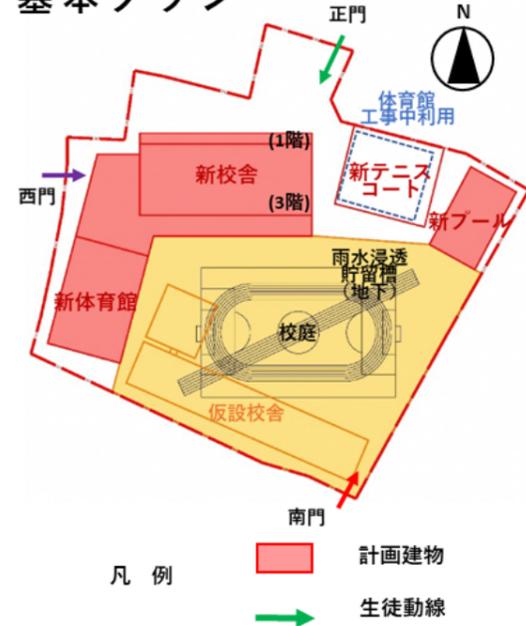
# 第五中学校配置計画の考え方

校舎の位置を北・南・東・西にそれぞれ配置した4案を候補とし、改築懇談会での議論、近隣住民へのアンケートを経て、校舎を北に配置する計画とすることにしました。全体計画において、可能な限り仮設校舎は設置しない方針としていますが、第五中学校については、敷地の形状と既存校舎の配置の関係から、工事中の校庭確保が著しく困難になること、第五小学校改築中、小学校の仮校舎として利用する必要があることから、小学生の利用を前提とした仮校舎の建設により、第五小学校の児童の安全性、快適性を優先し、仮設校舎を建設します。

また、改築懇談会委員意見、近隣住民アンケートにおける意見を参考に、現段階の課題を解決するプランとして、北配置案のバリエーション①～②を整理しました。

令和3年度からはじまる基本設計の中で、バリエーション①～②に示す考え方も含めて、配置計画の詳細を具体化していきます。

## 基本プラン

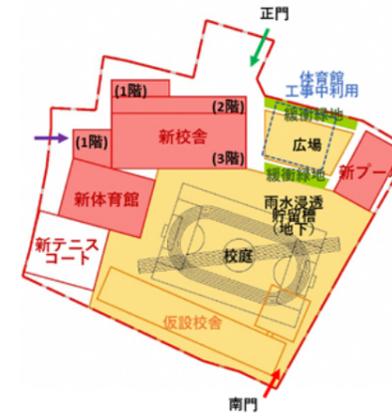


仮設校舎を建設し、引越し後に既存校舎・体育館を解体、跡地に新校舎を建設するプラン。既存の配置に最も近いプランであるが、日影規制により、建物北側が階段状になる。

生徒の動線は、既存の正門からのアプローチとなる。

- メリット
  - 平面プラン（間取り）への制約が少ない。
  - 本体工事期間中に既存体育館が継続して使用できる。
  - 小中共用時に新体育館を中学校、既存体育館を小学校が使用可能。
- デメリット
  - 校庭面積が若干狭い。
  - 体育館とプールが離れる。
  - 北東側近隣への音の影響が生じる。

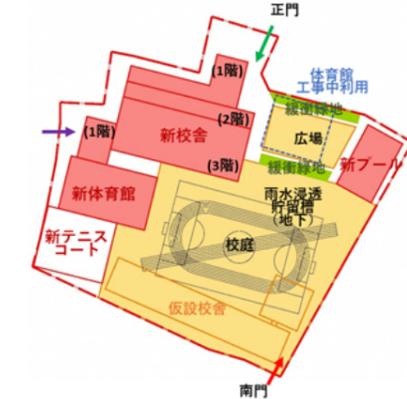
## バリエーション①



近隣への騒音に配慮し、テニスコートの位置を北東から南西に変更したプラン。この変更に伴い、校舎1階部分が北側に拡張し、建物北側が階段形状となる。

- メリット
  - 基本プランよりも校庭が広くとれる。
  - 広場空間の確保により、北側への砂埃対策が可能。
  - 工事期間中に既存体育館が継続して使用できる。
  - 小中共用時に新体育館を中学校、既存体育館を小学校が使用可能。
- デメリット
  - 新校舎の建物形状が階段状となり、平面プラン（間取り）に制約が生じる。
  - 校舎と体育館が接する為、一部窓が確保できず、平面プラン（間取り）に制約が生じる。
  - 体育館とプールが離れる。

## バリエーション②



近隣への騒音に配慮し、テニスコートを北東から南西に変更したプラン。需要の高い1階の床面積をより広く確保するために、バリエーション①よりもさらに北側に拡張している。建物北側は階段形状となる。

- メリット
  - 基本プランよりも校庭が広くとれる。
  - 広場空間の確保により、北側への砂埃対策が可能。
  - 1階の面積が広くとれる。
  - 工事期間中に既存体育館が継続して使用できる。
  - 小中共用時に新体育館を中学校、既存体育館を小学校が使用可能。
- デメリット
  - 新校舎の建物形状が階段状となり、平面プラン（間取り）に制約が生じる。
  - 体育館とプールが離れる。
  - 体育館により新校舎（教室）に日影が生じる。

## 想定工程

年	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	令和10年度(2028年度)
ステップ			ステップ1	ステップ2	ステップ3		ステップ4		ステップ5
設計	基本計画	基本・実施設計							
工事			仮設校舎建設	仮設校舎へ 既存校舎解体	新校舎・新体育館建設	新校舎へ			プール、テニス、外構工事
			五中生徒 仮設校舎利用期間			五小児童 仮設校舎利用期間			

## 想定工事ステップ図

※バリエーション①、②も同じような手順を想定しています。

